

経営比較分析表

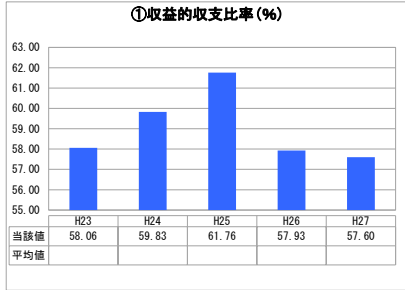
岐阜県 池田町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cc3
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)
-	該当数値なし	43.55	91.27

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
24,572	38.80	633.30
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
10,660	4.28	2,490.65

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成27年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



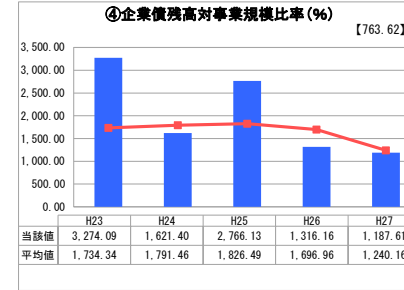
「単年度の収支」



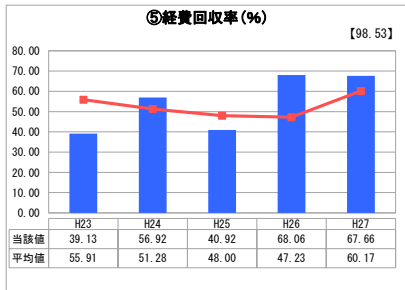
「累積欠損」



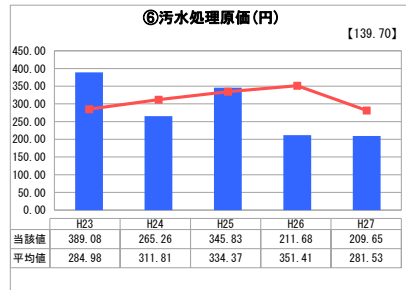
「支払能力」



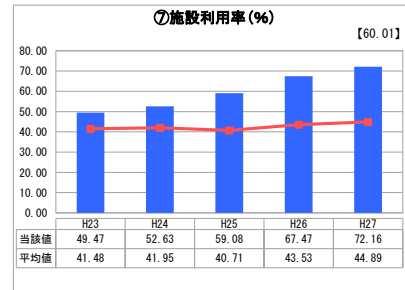
「債務残高」



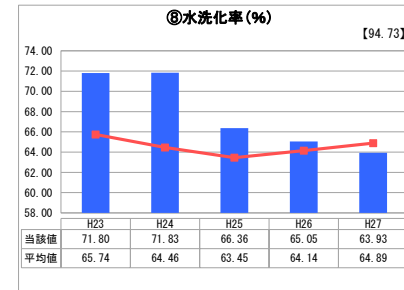
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

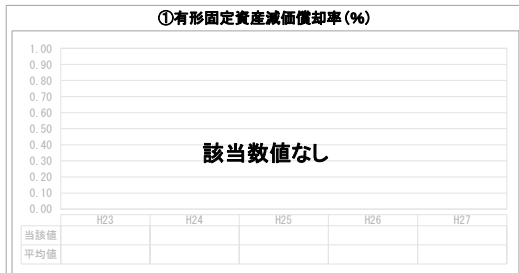


「施設の効率性」

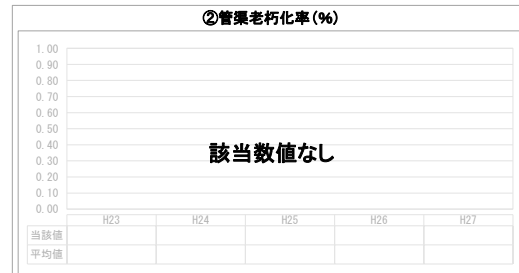


「使用料対象の捕捉」

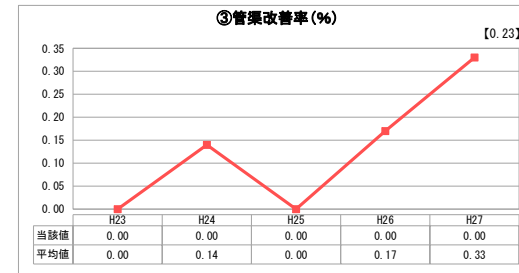
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析概

1. 経営の健全性・効率性について

整備途中であることから、建設改良費に係る地方債償還金に充てる割合が大きいため、料金収入だけでは賄えないため、一般会計負担に依存せざるを得ない状況である。

さらに、管渠整備ができて間もない区域が多く、また、合併浄化槽の整備が既に済んでおり、高齢者単身や高齢世帯が多いため水洗化工事に対して消極的となっていることが、水洗化率の低水準に繋がっている。

今後は、広報誌への記事掲載や個別訪問などを通じて未接続世帯に対して働きかけを継続し、健全性を確保するために接続率向上を目指す。効率性は、施設利用の実績に基づき今後の計画を立てていることから、順調に推移しているといえる。

2. 老朽化の状況について

平成9年度に事業着手して平成15年度に供用開始し、現在整備を進めている状況であるため、施設が比較的新しいことから、更新の需要は平成45年以降から発生する。しかしながら、電気・機械設備等は早く更新時期を迎えるため、更新計画とともにストックマネジメント計画も検討していく。

全体総括

整備途中であるため、まだ投資時期である。今後も実績に基づく増設計画や、将来に向けた老朽化に伴う改築等の財源確保なども見据えながら、経営戦略を早期に策定することにより、持続可能な経営体制を目指す。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。